

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【公表番号】特表2015-528562(P2015-528562A)

【公表日】平成27年9月28日 (2015.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-060

【出願番号】特願2015-525897(P2015-525897)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 27/447 (2006.01)

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 27/26 3 3 1 E

G 0 1 N 27/62 D

G 0 1 N 27/62 V

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

心不全のリスクを有する患者を分類するための方法であって、

i . 前記患者から得られたサンプル中の I G F B P 2 の濃度を測定する工程、

i i . 工程 ( i ) で測定した I G F B P 2 の濃度を、特定の心不全病期にある患者由来のサンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する コントロール値、及び / 又は健常患者由来の血液サンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する コントロール値と比較する工程を含む、方法。

【請求項 2】

患者における心不全を診断するための方法であって、

i . 前記患者から得られたサンプル中の I G F B P 2 の濃度を決定すること；及び

i i . 前記濃度をコントロール値と比較すること

を含む、方法。

【請求項 3】

心不全が、無症候性心不全、慢性心不全又は急性心不全である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記サンプルが、血漿及び尿サンプルからなる群より選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

サンプル中の I G F B P 2 タンパク質のレベルを定量することによって、I G F B P 2 の濃度を測定する、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

I G F B P 2 に対する抗体セットを使用することによって、I G F B P 2 タンパク質のレベルの定量を実施する、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

ELISAによって、I G F B P 2 タンパク質のレベルの定量を実施する、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

キャピラリー電気泳動 - 質量分析技術によって、I G F B P 2 タンパク質のレベルの定量を実施する、請求項 5 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

発明の分野：

本発明は、心不全のリスクを有する患者を分類するための方法であって、( i ) 前記患者から得られたサンプル中の I G F B P 2 の濃度を測定する工程、並びに ( i i ) 工程 ( i ) で測定した I G F B P 2 の濃度を、特定の心不全病期にある患者由来のサンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する コントロール値、及び / 又は健常患者由来の血液サンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する コントロール値と比較する工程を含む方法に関する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 5】

従って、本発明は、心不全のリスクを有する患者を分類するための方法であって、( i ) 前記患者から得られたサンプル中の I G F B P 2 の濃度を測定する工程、並びに ( i i ) 工程 ( i ) で測定した I G F B P 2 の濃度を、特定の心不全病期にある患者由来のサンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する コントロール値、及び / 又は健常患者由来の血液サンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する コントロール値と比較する工程を含む方法に関する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 7】

特定の実施態様では、前記方法は、

( i ) 前記患者から得られたサンプル中の I G F B P 2 の濃度を測定する工程、

( i i ) 工程 ( i ) で測定した I G F B P 2 の濃度を、特定の心不全病期にある患者由来のサンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する 閾値、及び / 又は健常患者由来のサンプル中の I G F B P 2 の濃度 に由来する 閾値と比較する工程をさらに含む。